



# 令和7年度 中津川市立付知中学校 学校経営の全体構想

<p>《中津川市の方針》</p> <p>よりよいひとりだち</p> <p>生活・学習における</p> <p>基礎基本の習得と</p> <p>たくましい子の育成</p> <p>「知識と知恵」→「生きぬく力」</p>	<p>《学校の教育目標》</p> <p>豊かさ — 個の自主</p> <p>厳しさ — 集団の自主</p> <p>たくましさ — 調整力・粘り強さ</p> <p>《校訓》 <b>自主人格</b></p>	<p>《学校の課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力の育成</li> <li>・困難を乗り越えるたくましさの涵養</li> <li>・学校生活不適応生徒の増加</li> <li>・家庭での学習習慣の形成</li> <li>・若手の職員の指導力育成</li> </ul>
<p>《目指す学校像》 質の高いものを求めて、粘り強く取り組み、成果をあげることでできる付知中学校</p> <p>《指導の方針》 生徒の思いに寄り添う</p>		

## 《指導の重点》

<p>確実に学力を身につける</p> <p>「授業づくり」</p>	<p>温かい人間関係と規律のある</p> <p>「生活づくり」</p>	<p>保護者・地域とともに歩む</p> <p>「連携づくり」</p>
<p>1. 「3つの見届け」のある授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の主体的な活動を柱とした授業構成</li> <li>・「3つの見届け」 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 実態の把握</li> <li>② 学習状況の把握</li> <li>③ 定着状況の把握</li> </ul> </li> <li>・ICT 機器の効果的な活用</li> </ul> <p>2. 【研究推進】</p> <p>「授業終末の評価活動の充実を通して、すべての生徒が課題の達成を実感し、学ぶ意欲を高めることのできる授業」</p> <p>3. 【一点突破】</p> <p>「授業終末に、生徒が自己肯定感を高められるような、本時の学びに対する振り返りの実施」</p>	<p>1. 主体的な活動を生かす生徒会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「<b>目指す生徒像</b>」を目標として、生徒の意識を活かし、自治的な活動を通して主体性を育てる。</li> <li>・キャンペーン活動から習慣化へのレベルアップ</li> </ul> <p>2. よりよい仲間関係を追求する学級経営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営案を基にした計画的な指導</li> <li>・折り合いをつけられる話し合い活動</li> <li>・合唱の取り組みを活かした実践</li> </ul> <p>3. 学習の基盤となる生活習慣づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・画面視聴時間を <b>セルフコントロール</b> できるようにする指導</li> <li>・「付知中一行詩」の効果的な活用</li> <li>・主体的な取り組みに繋がるキャリア教育</li> </ul>	<p>1. 将来の夢や希望をもてる総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の一員として「付知を知る・学ぶ・提言する」を探索的に取り組む。</li> </ul> <p>2. コミュニティスクールとしての地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会を中心とした外部団体との情報共有と事業推進</li> <li>・ボランティアや地域行事などへ参加など協働的な活動の推進</li> </ul> <p>3. 家庭における学習習慣の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学力アッププログラム」などを活用した学習習慣づくり（画面視聴時間の減少）</li> </ul> <p>4. 休日部活動の地域移行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO つけちスポーツクラブとの連携による地域移行の推進</li> </ul>

## 「居場所と絆」のある“来たくなる学校”づくり

1. 一人ひとりを大切にする教育の推進（人権尊重の気風づくり）
  - ・いじめの未然防止・早期発見・早期対応の実施
2. 不登校や学校生活不適応への積極的対応（教育相談力の向上）
  - ・よりよい仲間関係づくりと自己肯定感、自己有用感の育成への指導の重点化

## 《指導の基盤》

<p>■ねらいを明確にした指導と評価の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 生徒の実態に即した効果的な指導の実践</li> <li>○ 指導と評価の一体化</li> <li>○ 個に応じた評価の場や方法の工夫・改善</li> </ul>	<p>■指導体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 情報を共有して、チームによる指導体制を確立する</li> <li>○ 指導の質を下げない働き方改革の推進</li> <li>○ 指導力向上のための研修の実施</li> </ul>
<p>《目指す職員集団の姿》 <b>生徒や保護者に「納得できる指導」ができるプロ集団</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 徹して生徒につく</li> <li>○ 受容と毅然</li> <li>◎ 教育相談的対応</li> <li>○ コンプライアンス</li> <li>○ 心理的安全性</li> </ul>	